

共同獣医学部学術セミナー

演題： 腫瘍疾患の動物に対する放射線治療と終末期治療
講師： 根本有希 先生
(麻布大学附属動物病院 高度先端動物医療研究室)
開催日時： 令和2年10月2日(金) 16:00-17:00
場所： 獣医学研究科棟4階 大講義室

講演要旨：

伴侶動物の高齢化に伴い、腫瘍に罹患する動物が増加している。治療として、手術が困難、化学療法への反応が乏しい腫瘍には、放射線治療を選択することが多い。体表の巨大腫瘍では、治療を行わない場合もしくは治療の効果が得られるまでの間、それらは自壊、感染し、出血や悪臭を伴い生活の質を低下させることもある。医学では、放射線治療の効果を高めるため、放射線増感剤や照射方法やプロトコールが様々研究されているが、獣医療では未開拓分野である。また上記のような生活の質を低下させる自壊した腫瘍に対しては終末期治療が必要となるが良い解決策がないのが現実である。

本講演では放射線治療の効果を高めるための検討と現在試みている終末期治療について紹介する。